

訓練詳細は不明、オスプレイ参加時の「最大限の安全対策」は言葉だけ

関山演習場での日米共同訓練(来年2月～3月実施予定)で質疑

こんなことでいいのでしょうか。来年2月下旬から3月中旬にかけて関山演習場で行われる日米共同訓練について、上越市は北関東防衛局から訓練概要の説明を受けたものの、どこでどんな訓練が行われるか具体的なことはほとんどつかんでいない状態であることが判明しました。また9日、北関東防衛局長に提出した要望書の中で、「オスプレイが演習に参加する場合は、最大限の安全対策を」求めたとのことですが、一般的なことをのべただけで、飛行の高度とかヘリモードへの転換場所に対する注文など具体的なことは一切触れていないことがわかりました。これは、10日の総務常任委員会での私の質疑でわかったものです。

委員会ではまず、「どういう訓練なのか見えてこない。高田の自衛隊が参加することになっていないが、高田駐屯地と関山演習場の間で(ヘリなどの)動きはあるのか」、「機能別訓練はどういう訓練なのか説明受けたか」と質問しました。これに対して土橋総務管理部長は、

「いま現在、具体的に答えられる状況にない。訓練の概要というレベルの情報を持っていて、そのなかに示されている情報だけだ」と答えました。

次いで、9日に上越市と妙高市の市長および市議会議長連名で渡辺北関東防衛局長に提出した「関山演習場における日米共同訓練実



施に対する要望」書についてふれ、「オスプレイが参加する場合については、『最大限の安全対策』を講じるようにとしているが、『最大限の安全対策』とは何か、具体的に何を求めたのか」と追及しました。これに対して土橋部長は、「(関山演習場での)日米共同訓練はこれまで9回行われている。これまでも隊員や車両の移動にあたっては、周辺の交通状況に十分配慮するように働きかけてきた。また音や訓練の時間帯についても(市民生活に影響があるので)配慮してほしいなど要請してきた。訓練全般についてお願いすることなので、昨日の段階ではどうこうするようには具体的にのべていない」と答えました。

北関東防衛局が示した訓練概要

北関東防衛局が6日、上越市に対して行った「国内における米海兵隊との実動訓練について」の概要は以下の通りです。

【目的】陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、相互運用性の向上を図る

【実施時期】平成26年2月下旬～3月中旬

【実施場所】関山演習場、相馬原演習場等

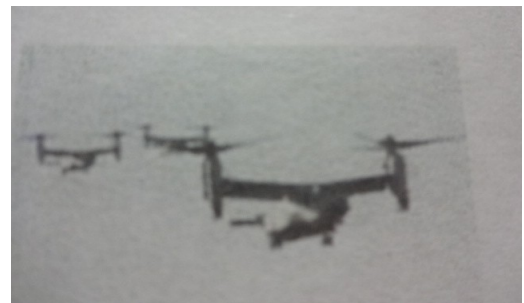
【参加部隊】陸上自衛隊：第12旅団第2普通科連隊基幹(高田駐屯地)

米海兵隊：第3海兵機動展開部隊第4海兵連隊基幹(キャンプ・シユワブ)

【訓練概要】積雪寒冷地における機能別訓練(機能毎に段階的に演練)、指揮機関訓練及び総合訓練(二連の行動を演練)

オスプレイで侵入・奇襲作戦訓練

そもそもオスプレイは、米海兵隊が他国への侵襲作戦を強化するためにつくられた輸送機であり、海兵隊の「侵略力」を強化するために配備されたものです。そのオスプレイとどんな訓練をやるというのか。防衛省が発表した訓練概要によれば、陸上自衛隊と米海兵隊が「ヘリボーン訓練」をおこなうと書かれています。「ヘリボーン」というのは、ヘリコプターを使って敵地などへ部隊が侵入・奇襲し、目的地を制圧する戦術のことです。ベトナム戦争やアフガニスタン戦争で特に多用された、まさに侵略戦争そのものです。



空中機動中のオスプレイ

私の一般質問は16日の予定

私の一般質問は19番目です。16日の午前10時半過ぎに登壇の予定です。今回の質問では、市有温浴施設における第三セクター所有資産問題、市及びガス水道局発注の入札について市長に問いただします。ぜひ、傍聴にお出かけください。



【柿だんご】柿だんごは初めて聞いた、見たことがないという人が多かったので、写真を載せました。真ん中の黒い部分が野沢菜漬けです。その周りに柿らしきものがあることは白黒ではわかりませんが、傍聴にお出かけください。

もし一枚の絵と出会うことがなかったならこの人とは一生会うことはなかったでしょう。農村に暮らす人々を描き続けているシンヤさんのことです。一枚の絵というのは上越市展の洋画・版画部門に入選した「春の山菜採り」という題名の絵です。

田んぼの土手らしきところでコゴミを採っている様子を描いたこの作品、春を迎えた喜びがよく描かれていました。山村ならどこでも見られる春の光景ですが、山菜を採っている二人の女性の表情がじつに明るく、楽しそうでした。

いったいどんな人が描いたのだろうか。他に絵があるのなら、それも観てみたい。そう思って、一月の中旬、シンヤさんのお住まいを訪ねてきました。

シンヤさんは安塚区伏野に住む男性で、現在八〇歳。玄関で声をかけると、お連れ合いが出迎えてくださいました。

居間に入った途端、私の目に入ってきたのは、鴨居のところにずらりと並べられたシンヤさんの作品です。ご本人とお連れ合い、それぞれの肖像画がありました。女性グループの人たちが料理をしている絵もありました。そして、土地を開墾して田んぼをつくっている絵と牛の背中に稲をつけ、その前を人間もまた稲をそって歩いている絵が丸い時計をはさんで飾られていました。おぉー、これはすごい。この二つの作品を観ただけで胸がいっぱいになりました。

初めて会ったシンヤさんは、ハンサムというか、流行の言葉でいえばイケメンじゃないかなでした。少しひげをたくわえ、芸術家の雰囲気もあるが、それでいながら人懐こさのある人でした。炬燵のそばで、ズイキの酢漬け、野沢菜漬けなどをいただきました。から話を聴きました。

シンヤさんはもともと絵が好きな人で、小学校時代に金賞をもらったこともあるといひます。油絵を本格的に描き始めたのは六三歳から。それまでは写真に凝っていたようです。ところが写真は長い月日が経つと色が変わります。色の変わりはじめた写真を絵にして残そうと思ったのがシンヤさんにとって油絵の出発となりました。以来、独学で油絵を勉強し、描き続けます。

「写真はせいぜい百年もてばいい方、油絵は何百年経っても残っているでしょ。描き始めたら、何もしねで昼も夜も描き続けていた。人の顔なんか、あれですよ、眉毛だけで三日もかかったことがあるんです」

シンヤさんの作品は居間だけではなく、奥の部屋にもずらりと並んでいました。それだけではありません、なんと、二階の一室にも作品がたくさんあったのです。ここはシンヤさんの作業場、アトリエでもありました。亡くなった両親の姿を描いた絵、薬草採りの絵、それに裸婦の絵もありました。この家はシンヤさん御家族の住まいであると同時にギャラリー（画廊）にもなっていたのです。

二階からは菱ヶ岳がよく見えます。この日は青空が広がっていて、雪をかぶった景色がじつに見事でした。ふるさとの山はいつもそこに住む人たちを励ましてくれます。シンヤさんが最初に描いた絵は菱ヶ岳にある不動滝でした。

今年の一〇月三日、シンヤさんはこの間、ずっと支えてくれたお連れ合いに、「きょうは何の日だか知っているか」と声をかけました。「初めて、こんなこと言われた」と、お連れ合いは笑いました。一〇月三日はシンヤさんの誕生日です。二人はこの日、ケーキの代わりにお寿司をとって食べたとか。これも絵になるでしょう。

総合事務所産業建設グループの集約はうまくいっているというが……

市議会総務常任委員会は10日、総合事務所の在り方の問題で所管事務調査を行いました。いわゆる産業建設グループ集約問題です。

市はこの春から総合事務所産業建設グループを4つの区域に分け、産

業建設グループが行っている、道路、産業などの仕事を進めています。これがうまくいっているかどうか、各区の地域協議会等に聴きながら検証作業をしています。10日の説明で市は、「災害対応で機動力を発揮できた」「業務の効率化が図られた」「スケールメリットをいかした地域振興策の展開が始まった」などの評価をしています。「不便になった」などの不満はほとんどないということでした。

でも私は、これまでの試行のなかで市民の声をしっかりとつかんでいるかどうかが一番気になっています。行政側は地域協議会や町内会長連絡協議会、地区別懇談会などで市民の声を聴くべく努力しているものの、私がふだん耳にする、「職員が少なくなつて不安だ」「役所が遠くなった気がする」といった声はほとんど確認できませんでした。私

が耳にしたことは極めて少数なのかどうか、独自の調査の必要性があるなど感じた次第です。この日は、このほか、「何が産業建設グループを集約をしたことによる成果なのかわからない」「住民の立場から見た場合、役割分担と連携がうまくいっているのかどうか」などの発言も出ていました。



県道新井柿崎線、江島一馬正面間の防雪柵（「吹き払い柵」とも呼ぶ）の修繕などの工事がようやく始まりしました。ここについては昨冬、一部で柵が飛ばされるという事故が起き、その原因を究明した後、修繕工事を行うことになっていました。原因については説明があり次第、お知らせします。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

| | 12月4日(水) | 12月11日(水) |
|--------|----------|-----------|
| 上越南消防署 | 0.036 | 0.036 |
| 上越北消防署 | 0.053 | 0.057 |
| 新井消防署 | 0.040 | 0.040 |
| 頸北消防署 | 0.046 | 0.060 |
| 頸南消防署 | 0.043 | 0.050 |
| 東頸消防署 | 0.040 | 0.046 |
| 高土分遣所 | 0.050 | 0.047 |
| 名立分遣所 | 0.047 | 0.053 |